

7 部分補修（熱硬化）… 伸縮一体型による施工実例

φ450 人孔よりの 200-150 一体型補修

状況



現場状況 洗浄工



φ450人孔…深さ1.30m



伸縮一体型…
φ200-150用
収縮時の全長…
50cm



通常の一体型施工機(200-150)との比較
全長…85cm

施工方法



200-150の補強繊維に
樹脂を含浸



伸縮一体型に補修材を巻き付け、
収縮させる



φ450人孔より、
T字棒を使って
施工機を挿入



工事車側にて、施工機に内蔵されたカメラ映像を
見ながら位置合わせを行い、拡張・硬化させる

8 部分補修（熱硬化）… 小口径排水管の木の根／段差

状況

工場内の排水設備
φ125において、
段差部分に木の根が
侵入して、流域を
障害していた。

対策

一穴ノズルにて、木の根を除去後、段差が大きく、φ125用ちび弾丸では、施工が
難しいため、φ100用のロングタイプちび弾丸で40cm幅の施工を行った。



施工状況



使用機材
(φ100 ロングちび弾丸)



木の根除去中



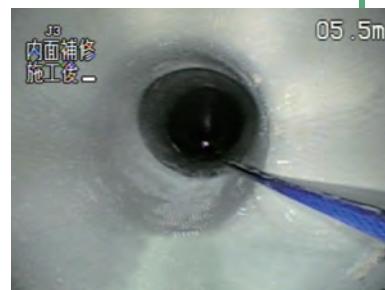
除去した木の根



施工前



施工中



施工後